

第1回批判的言語教育国際シンポジウム 未来を創ることばの教育をめざして  
内容重視の批判的言語教育 (Critical Content-Based Instruction: CCBi) のその後  
武蔵野大学 有明キャンパス 2018年7月1日

## 市民性を育むための 内容重視の批判的言語教育の試み —その意義と方法の検討—

横浜国立大学 山森理恵

### 発表の流れ

- はじめに
- 先行研究と本研究における「市民」と「内容」
- 本研究における実践
- 受講生の作文
- 考察
- まとめ
- 最後に

### はじめに

- 様々な対立、摩擦
- 多様性を尊重し、異なる人々がよりよい関係を築き、共に生きる社会を作っていくことが重要
- 社会の構成員一人一人が様々な問題に気づき、弱い立場や異なる立場から物事を捉え、解決策を考える
- 教育が果たす役割は大きい 日本語教育でも
- 日本語教育で、**市民性を育む** **内容重視の批判的言語教育**を行うことが重要

### 先行研究

内容重視の言語教育CBI:content-based instruction

Brinton, Snow & Wesche(1989)

「the concurrent study of language and subject matter, with the form and sequence of language presentation dictated by content material(p. vii)」

佐藤・高見・神吉・熊谷(2015)

CBIにおける内容が何を指すかは、多様な捉え方 (p.15)

### 先行研究

内容重視の批判的言語教育 CCBI:Critical Content-Based Instruction

佐藤・高見・神吉・熊谷(2015)

「自分の置かれた現状や社会に内在する社会的・慣習的な前提を問い直し、その維持や変革に能動的に関わって行こうとする」そのような「技能・知識の習得、意識・視点・姿勢・態度の育成に焦点を置く内容重視の言語教育(CBI)を特に「内容重視の批判的言語教育(CCBI:Critical Content-Based Instruction)」と呼ぶ。(pp.22-23)」

### 先行研究

市民

長沼(2003)

「共存しつつ、個と集団が、よりよきパートナーシップを築き、価値を見いだす人々のことであり、まずは敵対するとは考えない。そして、これらの人々の集合体が、個の自立と自律、相互依存性と他者性が共存する社会を生み出すのである。(p.8)」

## 先行研究

### 市民

細川(2016)

「人が社会において他者と生活するためには、環境としての集団や社会の中で、価値観の異なる他者と共にどのように生きるかということが大きな課題であろう。(pp. iv - v)」

本研究における「市民」:

異なる価値観の他者と共に生きる

社会における問題に目を向ける

他者の立場、特に弱い立場に立って考える

問題の解決策を考える

➡本研究における「内容」

様々な社会問題において問題を指摘し、他者の立場、特に弱い立場に立って考え、その解決策を考える

## 本研究における実践

- 主に学部生対象、上級向けの日本語の授業、90分15週(2017年度後期に実施)
- テーマに沿った内容を扱いながら日本語力を高めることをねらいとしたコース
- テーマ:「東日本大震災について、知る・学ぶ・考える」  
東日本大震災や原発事故が人々にどのような影響を与えたか
- 最終的な受講生:9名(中国5、香港・韓国・ロシア・モンゴル1)
- 内容学習を重視
- コースの目標:問題意識を持つ、批判的に考える力を身につける、他者(異なる立場、弱い立場の人)を理解することができるようになる、日本語でわかりやすく伝えることができる

## 本研究における実践

コースの流れ

段階1:震災を数字やデータから見る

段階2:被災地で起きた問題、起きている問題を知り、考える(グループでディスカッション・振り返りシートを記入)

段階3:自分たちでポスターを作成する、自分でテーマを選んで発表し、レポートにまとめる

数字やデータの向こうにある問題を知る

問題と解決方法を考える

自ら問題を探し出す

段階2をくり返すことで考えるトレーニング

考えることが苦手な人こそ

週	トピック	活動内容	活動の目的
1	ガイダンス、作文		
2	震災概要	東日本大震災・熊本地震について、データから見る	データから見る
3-4	津波被災地で起きたこと	ビデオ「その時ひとはどう動いたか」視聴★	問題点と対策を考える
5-6	原発事故が人々に与える影響①	ビデオ「あの日から2年 福島いまを知っていますか(一部)」視聴★	問題点と対策を考える
7	防災	グループで分担任発表準備『子どもたちに「生き抜く力」を一釜石の事例に学ぶ津波防災教育』	対策を考える
8	原発事故が人々に与える影響②	ビデオ「大地を受け継ぐ(一部)」視聴★	問題点と対策を考える
9	防災(課題図書発表)	分担任発表★	対策を考える
10-12	自分たちの防災	グループで調査、ポスター作成	自分の問題として考える
13-15	テーマ発表	各自が選んだテーマを発表★	問題点と対策を考える
	レポート・作文提出	★...グループディスカッション実施→振り返りシート記入	

週	トピック	活動内容	活動の目的
1	ガイダンス、作文		
段階1	震災概要	東日本大震災・熊本地震について、データから見る	データから見る
3-4	津波被災地で起きたこと	ビデオ「その時ひとはどう動いたか」視聴★	問題点と対策を考える
5-6	原発事故が人々に与える影響①	ビデオ「あの日から2年 福島いまを知っていますか(一部)」視聴★	問題点と対策を考える
7	防災	グループで分担任発表準備『子どもたちに「生き抜く力」を一釜石の事例に学ぶ津波防災教育』	対策を考える
8	原発事故が人々に与える影響②	ビデオ「大地を受け継ぐ(一部)」視聴★	問題点と対策を考える
9	防災(課題図書発表)	分担任発表★	対策を考える
10-12	自分たちの防災	グループで調査、ポスター作成	自分の問題として考える
13-15	テーマ発表	各自が選んだテーマを発表★	問題点と対策を考える
	レポート・作文提出	★...グループディスカッション実施→振り返りシート記入	

週	トピック	活動内容	活動の目的
1	ガイダンス、作文		
2	震災概要	東日本大震災・熊本地震について、データから見る	データから見る
段階2 3-4	津波被災地で起きたこと	ビデオ「その時ひとはどう動いたか」視聴★	問題点と対策を考える
5-6	原発事故が人々に与える影響①	ビデオ「あの日から2年 福島がいまを知っていますか(一部)」視聴★	問題点と対策を考える
7	防災	グループで分担任発表準備『子どもたちに「生き抜く力」を一釜石の事例に学ぶ津波防災教育』	対策を考える
8	原発事故が人々に与える影響②	ビデオ『大地を受け継ぐ(一部)』視聴★	問題点と対策を考える
9	防災(課題図書発表)	分担任発表★	対策を考える
10-12	自分たちの防災	グループで調査、ポスター作成	自分の問題として考える
13-15	テーマ発表	各自が選んだテーマを発表★	問題点と対策を考える
	レポート・作文提出	★...グループディスカッション実施→振り返りシート記入	

週	トピック	活動内容	活動の目的
1	ガイダンス、作文	★...グループディスカッション実施→振り返りシート記入	
2	震災概要	東日本大震災・熊本地震について、データから見る	データから見る
3-4	津波被災地で起きたこと	ビデオ「その時ひとはどう動いたか」視聴★	問題点と対策を考える
5-6	原発事故が人々に与える影響①	ビデオ「あの日から2年 福島がいまを知っていますか(一部)」視聴★	問題点と対策を考える
7	防災	グループで分担任発表準備『子どもたちに「生き抜く力」を一釜石の事例に学ぶ津波防災教育』	対策を考える
8	原発事故が人々に与える影響②	ビデオ『大地を受け継ぐ(一部)』視聴★	問題点と対策を考える
9	防災(課題図書発表)	分担任発表★	対策を考える
段階3 10-12	自分たちの防災	グループで調査、ポスター作成	自分の問題として考える
13-15	テーマ発表	各自が選んだテーマを発表★	問題点と対策を考える
	レポート・作文提出		

週	トピック	活動内容	活動の目的
1	ガイダンス、作文		
2	震災概要	東日本大震災・熊本地震について、データから見る	データから見る
3-4	津波被災地で起きたこと	ビデオ「その時ひとはどう動いたか」視聴★	問題点と対策を考える
5-6	ビデオ「NHKスペシャル その時ひとはどう動いたか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震発生から津波到達までの間、人々はどう行動したか</li> <li>町の人々を助けるために時間を費やし、結果的に妻と助けようとした高齢の女性が命を落としたという男性の体験など。</li> </ul>	対策
7			
8			
9			
10-12		グループディスカッション、コメントシートの問い	
13-15		<ul style="list-style-type: none"> <li>災害が起きたときひとはどう動くかを踏まえて、どんな災害対策が必要か</li> <li>映像の中のケースを1つ選び、そういった事を防ぐための提案</li> </ul>	

### クリティカルな思考を促すための働きかけの例

#### 学習者Iのコメントシート

Q.災害が起きたときひとはどう動くかを踏まえて、どんな災害対策が必要だと思いますか。

まわりにどんな人がすんでいるのかを知らせることが必要。

動くのが不便な人のための対策も必要。

#### それに対する教師コメント

確かにそうですね。では、(動くのが不便な人のために)どんな対策が必要でしょうか。

週	トピック	活動内容	活動の目的
1	ガイダンス、作文		
2	震災概要	東日本大震災・熊本地震について、データから見る	データから見る
3-4	津波被災地で起きたこと	ビデオ「その時ひとはどう動いたか」視聴★	問題点と対策を考える
5-6	原発事故が人々に与える影響①	ビデオ「あの日から2年 福島がいまを知っていますか(一部)」視聴★	問題点と対策を考える
7		ビデオ「NHKスペシャル あの日から2年 福島がいまを知っていますか(一部)」	
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>原発避難をする人々の家族の分断</li> <li>原発避難をする子どもに対するいじめ</li> <li>子どもたちへの心の影響</li> </ul>	
9			
10-12		グループディスカッション、コメントシートの問い	
13-15		<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の分断／子どもたちが学校でからかわれる／子どもたちの「心の被ばく」を解決するための対策がないか</li> </ul>	

週	トピック	活動内容	活動の目的
1	ガイダンス、作文		
2	震災概要	東日本大震災・熊本地震について、データから見る	データから見る
3-4	津波被災地で起きたこと	ビデオ「その時ひとはどう動いたか」視聴★	問題点と対策を考える
5-6	原発事故が人々に与える影響①	ビデオ「あの日から2年 福島がいまを知っていますか(一部)」視聴★	問題点と対策を考える
7		学生が選んだテーマ例	
8		「韓国の地震」(地震対応の問題点と解決方法)	
9		「魯旬地震と少数民族の住宅問題」	
10		「仮設住宅のコミュニティ」	
		「黄砂」(黄砂がもたらす被害と対策)	
		「日本における未成年者のいじめ問題」など	
13-15	テーマ発表	各自が選んだテーマを発表★	問題点と対策を考える
	レポート・作文提出	★...グループディスカッション実施→振り返りシート記入	

## 本研究における実践

- 否応なく問題意識を喚起するような題材
- 段階を経る(考えることが苦手な人も、考えるトレーニングを経ることで)
- クリティカルな思考を促す問い
- 様々な社会問題において問題を指摘し、他者の立場、特に弱い立場に立って考え、その解決策を考えることを目指す

## 受講生の作文

- コース開始時と終了時で、受講生9名に変化があったか
- コース初回の作文とコース終了時の同じ課題の作文を比較

「あなたが東日本大震災・原発事故・自国の災害や大事故について思うこと、考えられる対策について書いてください。」(長さは自由)

## 受講生の作文

作文の記述内容を7つに分類

- 「事実」
- 「経験」
- 「感想」
- 「疑問・問題指摘」
- 「意見」
- 「立場(弱い立場に立った記述)」
- 「対策」

## 各項目の記述例

「事実」(学習者I)

東日本大震災で大きい地震と津波があり、そのせいで近くの原発施設にも被害が出てしまうことによって原子力物質が外に出たのがさらに大きい問題になった。…

「経験」(学習者I)

…その時、私はSNSを通じて地震被害が写っている写真や映像を見た。ニュースにも毎日出ていて、地震のおそろしさを知った。…

「感想」(学習者G)

…私には震災の経験はありませんが、なくて、あまりくわしくないので、でも、この先はどうなるのか誰も分からないので、震災についてもっと知りたいです。

## 各項目の記述例

「疑問・問題指摘」(学習者C)

…津波に被害された関東地区の人々はお互い助け合おうのが良いことだが、他人を避難勧誘するによって命を失ったことを見たら愛他行動の正しさに対して疑惑を持ってきた。…このような愛他行動は本当に提唱していいのか。…

「意見」(学習者F)

災害時に一番重要なのは正しい情報を確実に伝えることです。…

…防災教育において、強制的な防災教育を受けることより、生徒と教員が自発的に防災教育に参加させるのが大事なのではないかと感じました。

## 各項目の記述例

「立場(弱い立場に立った記述)」(学習者I)

…実際に震災を経て、悲惨な光景を見た子どもたちが、その心の中で傷を負い、よその世界とのコミュニケーションが恐れていることもあるのではないかと思った。…

「対策」(学習者I)

…これから考えて、周りの老人の目録を作って、それを隣の人に知らせることだ。そして、震災の時、一緒に逃げるようにすれば、もっと老人の死亡率は少なくなると思う。

## コース開始時と終了時の作文の比較

	学期開始時							学期終了時						
	事実	経験	感想	疑問・問題指摘	意見	立場	対策	事実	経験	感想	疑問・問題指摘	意見	立場	対策
学習者A	1							1			1	1		1
学習者B		1	1	1				1					1	1
学習者C	1		1					1		1	1	1		
学習者D	1	1				1		1		1	1			
学習者E	1		1					1		1			1	1
学習者F	1					1						1		
学習者G	1	1	1									1		1
学習者H	1	1						1		1	1	1	1	1
学習者I	1	1						1		1			1	1

注) 記述の長さ、量については、考慮していない

## 学習者Hの作文(コース開始時)

### 東日本大震災・原発事故

東日本大震災は東北地方に発生した。震度7の大きな地震だった。それに伴い、津波が来て、電所の事故による災害がありました。私はその時にモンゴルにいました。モンゴルのテレビではその時の日本の状態を直接放送されていました。津波やビルの揺れなどが本当に怖かったので私はできるだけ日本に手伝いしたかった。だから先生に鶴の折り方を教えてもらって100羽つくっていた。

事実

経験

## 学習者Hの作文(コース終了時)抜粋

〔津波対策について〕私にとってはハード施設で考え判断することは両方とも防災に大事な

意見

〔避難者いじめについて〕この問題を解決するのに一番大切なものは政府や周囲の子供たちの親の役割

意見

〔モンゴルの寒雪害について〕ゾドの影響で家畜を失った人たちはウランバートルに移住してくる。固定住居を買えるお金がないため、ゲルを組み立てて住む。マイナス40度を超える寒さを越えていくため、ゲルを暖めるのに燃料として石炭、木等を使う。それは大気汚染問題に大きい原因となっている。(略)私の考えている対策は他の県を早く発展させることに注力すべきだと思う。

対策

## 考察

コース開始時:「事実」「経験」「感想」が中心で

「疑問・問題指摘」「意見」「立場(弱い立場に立った記述)」「対策」の記述は限られていた

コース終了時:「疑問・問題指摘」「意見」「立場」「対策」の記述が増加

## 考察

- ・ 否応なく問題意識を喚起するような題材
- ・ 段階を経る
- ・ クリティカルな思考を促す問い

考えることが苦手な学生も含めて

⇒問題を指摘し、他者の立場・弱い立場に立って考え、解決策を考える態度・姿勢につながった(市民性)

## まとめ

- ・ 日本語教育において、市民性を育む(クリティカルな思考をし、様々な社会問題において問題を指摘し、他者の立場、特に弱い立場に立って考え、その解決策を考える)ことを「内容」として批判的言語教育を行うことに意義
- ・ 同様の取り組みが進んでいくことを期待

## 最後に

- クリティカルであるというのは終わりのないサイクル
- クリティカルな思考をより深める方法や言語教育との兼ね合いについて、さらに検討していくことが必要

## <参考文献>

- 佐藤慎司・高見智子・神吉宇一・熊谷由理(編)(2015)『未来を創ることばの教育をめざして-内容重視の批判的言語教育の理論と実践』コロ出版, pp.199-220
- Brinton, D., Snow, M. and Wesche, M. (1989) *Content Based second language instruction*, University of Michigan Press.
- 長沼豊(2003)『市民教育とは何か』ひつじ書房
- 細川英雄(2016)「市民性形成をめざす言語教育とは何か」『市民性形成とことばの教育 母語・第二言語・外国語を超えて』くろしお出版, pp.2-19
- 山森理恵(2018)「内容重視型の日本語授業の可能性—弱者の存在への気づき促し、問題意識を育む試み—」『第21回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム報告・発表論文集』, pp.542-546  
<https://www.eaje.eu/media/0/myfiles/lisbon/full.pdf>
- 山森理恵(2018)「日本語授業における批判的リテラシーを育む試み—発表を通じての学習者の変化から—」沖縄県日本語教育研究会第15回大会

